※令和４年度以降入学生用

学校番号	C4001

令和８年度　国語科

科目	**言語文化**	単位数	2
使用教科書	「新編　言語文化」　（東京書籍）		
副教材等	「新編　言語文化　学習書」　（ＮＨＫ出版）		

	前期	後期
単位	1	1
レポート	３通	３通
必要出席回数	１回	１回
テスト	○	○

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・必履修科目(国語科は「現代の国語」と「言語文化」の二科目)。
・一年間を通じて、時代を問わずあらゆる文学的な文章・思考に触れ、日本の言語文化に対する教養を深め、読解力や思考力を養います。

(

2　学習の到達目標

・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者（著者・作者・添削担当等も含む）との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
・言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	文学的な文章を読むにあたって必要な知識・技能（常用漢字、語彙、時代背景、修辞等）を身に付け、活用している。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者(作者や登場人物など)と向き合い、文脈を読み解いている。	作品の背景や、関連作品などに主体的に触れようとしたり、登場人物や作者などを深く掘り下げたりしようとしている。

- 学習指導要領(第１章第７款の４)に則り、ラジオ・テレビ放送その他の多様なメディアを利用して行う学習による面接指導時間数の免除(面接指導の時間数のうち 10 分の６以内の時間数を免除)の制度を活用する。
- 学年末に５段階で評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

範囲	S	R	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
					知(a)	思(b)	主(c)
前期	1時間	1枚（1枚目）	①現代と古典とのつながりを考える ［教材］さくらさくらさくら	a:（単元①）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている （単元①）我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している b[読]:（単元①）読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している c:（単元①）筆者の論旨に対して賛同や反論など、何らかの反応を示そうとしている	レポート・テスト	レポート・テスト	スクーリング・レポート・テスト
		1枚（2枚目）	②古文にふれる ［教材］古文に親しむ	a:（単元②）我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている （単元②）古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している b[読]:（単元②）読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している c:（単元②）古文の学習に主体的に取り組み、文脈や歴史的背景を読み取ろうとしている			
		1枚（3枚目）	③古文にふれる ［教材］児のそら寝	a:（単元③）我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増やし、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている （単元③）古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している b[読]:（単元③）:読むことにおいて、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている [書]:（単元③）書くことにおいて、作品を読んだうえで、自分の知識や体験をもとに解釈したり、想像したりし、それを文章で表現できている c:（単元③）古文の学習に主体的に取り組み、文脈や歴史的背景を読み取ろうとしている			
後期	1時間	1枚（1枚目）	④小説を読む ［教材］羅生門	a:（単元④）常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている （単元④）文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している b[読]:（単元④）:読むことにおいて、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている [書]:（単元④）書くことにおいて、作品を読んだうえで、自分の知識や体験をもとに解釈したり、想像したりし、それを文章で表現できている c:（単元④）接続詞など、作品の細部から、人物像を読み解こうとしたり語り手の意図を捉えようとしたりしている	レポート・テスト	レポート・テスト	スクーリング・レポート・テスト
		1枚（2枚目）	⑤漢文の基礎を学ぶ ［教材］訓読の基本	a:（単元⑤⑥）古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している b[読]:（単元⑤⑥）:読むことにおいて、文章の種類をふまえ、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確に捉えている c:（単元⑤⑥）話の内容を理解し、要旨や感想を簡潔に伝えようとしている （単元⑥⑦）漢文の読み方を理解しようとしたり、学んだ語句を実生活に取り込もうとしたりしている			
		目）1枚（3枚	⑥漢文にふれる ［教材］論語				

※ 表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※ 表中の「S」とはスクーリング、「R」とはレポートのことを指す

※ 通信制の高校である為、単純な授業時数で表わすことはできない。参考に、レポート１枚あたり２時間を想定して各領域における授業時数を示しておく。

・書くこと　…　（　6）時間

・読むこと　…　（２１）時間